

March

2024

ASC ニュースレター



**Setting The
Standard for
Seafood**



AEON ASC認証 ふくい名水サーモン 販売

イオンリテールは3月15日（金）～3月17日（日）の3日間、関東・北陸信越・東海の「イオン」「イオンスタイル」等約270店舗にて、「福井・北陸フェア」を開催しました。今回のフェアでは、福井県の後援のもと、福井県の味や美味しさを楽しめる「伝統的な食」を販売するだけでなく、「新しい福井の食」の紹介とともに、県産の食材を組み合わせたレシピを提案。

また、能登半島地震の被災地の復興を応援する取り組みの一環として、石川県・富山県の商品を取り扱う北陸フェアも同時開催。イオンスタイル品川シーサイド、イオンスタイルレイクタウンでは、ASC認証 朝メふくい名水サーモンの販売が行われました。福井中央魚市株式会社は、2024年1月30日にASC養殖場認証を取得し、名水百選に選ばれた清流の水を使った施設では年間150トンの出荷を目指しています。



福井県産・養殖

**ふくい
名水
サーモン®**

責任ある養殖により
生産された水産物

ASC-C-00332

この製品は、ASC(水産養殖管理協議会)の基準に従い認証された、責任ある養殖管理のもと育てられた水産物です。www.asc-aqua.org

マルハニチロ 「親子ブリ料理教室」を開催

マルハニチロ株式会社は、先月豊洲市場内で親子ブリ料理教室を開催しました。

この教室では、ASC認証を取得した大分県のアクア事業所上浦漁場で育てられたブリを使用し、お魚セミナーやブリ解体ショー、ブリ料理の調理体験を実施しました。

解体ショーでは、子どもたちからブリの餌や調理する際の注意点について、ブリに歯は生えているのか、といった興味深い質問が多く寄せられました。

解体されたブリで【ブリのカルパッチョ】【ブリの洋風照り焼き】【ブリしゃぶ鍋】の3品を調理し、皆さんで美味しくいただきました。

参加者からは、「普段ブリを捌く機会がないので勉強になった」「美味しいブリを子どもと調理でき、良い思い出になった」「解体ショーの迫力がすごかった」といった感想が寄せられました。

マルハニチロは、地域社会とのつながりを大切にし、子どもたちの食育・学習支援を積極的に行っていくとしています。



MS&ADグループ 三井住友海上で南三陸産の戸倉っこカキフライを提供

三井住友海上 駿河台ビルの社員食堂で、「サステナブルシーフード×MS&ADグリーンアースプロジェクト」イベントが開催されました。

日本初のASC認証を取得した南三陸産「戸倉っこかき」を使用したカキフライ定食は予定食数を大きく上回って選択されるほど、社員から大変好評でした。

MS&ADグループでは、2022年度からグループ一体で自然環境の保全・再生や環境負荷低減等を目的としたMS&ADグリーンアースプロジェクト（GEP）を推進しており、活動の一環として宮城県南三陸町でアマモ場再生によるブルーカーボンの創出や、自治体が目指すいのちめぐるまちづくりの支援活動をしています。

南三陸産の「戸倉っこかき」を通じて、サステナブルシーフードとGEP双方への理解を深めるきっかけとなり、サステナブルシーフードのパフレット・販促品、GEPの活動パネルの展示にも社員から大きな関心が寄せられました。

イベントを企画した経営企画部・S X推進チームのメンバーは「サステナブルシーフードを普段から積極的に選択することの重要性やその産地の自然を守ることの大切さを認識してもらい、サステナブルな消費行動の変容につなげていきたい」と話していました。

詳細活動内容については、MS&ADグループの「[MS&ADグリーンアースプロジェクト](#)」のウェブサイトをご覧ください。



南三陸産戸倉っ子 カキフライ

※メニューで提供されているのは、ASC MSC（水産資源管理認証）認証を取得した責任ある産地で育てられた水産物です。
www.asc-aqua.com

MS&AD GROUP



かごしま環境未来館 SDGsフェスタの様子

3月23日-24日にかごしま環境未来館で開催された「未来館SDGsフェスタ」にブース出展しました。多くの子どもたちとその親御さんが来場し、大変盛況なイベントとなりました。

このイベントは、SDGsの目標達成に向けて、楽しく自然や環境について考え、行動変容につなげることを目的としています。さかなのおいさんかわちゃんが海の生き物や環境問題をクイズ形式で説明するなど、子どもたちに分かりやすく情報を提供しました。また、他のブースでは、魚釣りゲームや魚の工作など、子どもたちが楽しんで参加していました。

ブースでは、養殖の大切さや環境・社会に配慮したサステナブル・シーフードについて、子どもたちに分かりやすく伝え、さらにパンフレットや販促品を配布し、スーパーでラベルを探してもらえるきっかけ作りを行いました。

このような活動を通じて、子どもたちや来場者が環境問題やサステナビリティについて理解を深め、行動につなげるきっかけとなればと思います。



タイユニオンがアジア初の飼料認証を取得

タイユニオンのマハチャイ工場が、アジアで初めてのとなる飼料認証を取得しました。この工場では、シーバス、タイ、オオニベ、ティラピア、エビの飼料が生産されています。審査はコントロールユニオン社によって行われました。ASCのCEOクリス・ネスは『これがASC飼料基準にとって画期的な進歩で、エビ飼料を生産する初の認証工場でもあり、これにより持続可能なエビ養殖が促進されると期待します』と述べました。

タイユニオンのCEOピーラザク・ブーンメショットは、『この認証が弊社の持続可能性へのコミットメントを示し、業界のリーダーシップを強化するものだ』と述べました。

ASC飼料基準は、欧州連合をはじめ国際的なガイドラインに沿って、主要原料のサプライチェーンに及ぶ影響を考慮した基準です。認証を取得する養殖場は、2025年10月までにASC飼料基準の認証を取得した飼料工場より飼料を購入することが求められます。



詳しくは最新ニュースから

<https://jp.asc-aqua.org/news/asc-feed-standard-lands-in-asia-as-thai-union-receives-certification/>

ウーマン・イン・オーシャン・フードの女性イノベーターたちをASCが支援

メキシコのラパス市で行われたイベントにおいてASCは、女性が水産養殖やブルーエコノミーに参入する支援を行いました。ASCはコンサベーション・インターナショナル・ベンチャー社 (Conservation International Ventures)とハッチ・ブルー社 (Hatch Blue) とのパートナーシップにより、女性起業家が集まり、地域の食糧システムを発展させる革新的なアイデアを発表しました。

ASCのサプライチェーン保証責任者であるウェンディー・バンタは、このイベントでサプライチェーン全体における責任ある養殖の役割と利点について語りました。

さらに、女性の主導する企業13社が2024年1月に開催されたウーマン・イン・オーシャン・フード・イノベーション・スタジオ (Women in Ocean Food Innovation Studio) に参加し、2週間にわたるメンターシップとネットワーキングのプログラムに参加しました。参加者はビジネスアイデアを共有し、ビジネスモデルを構築し、プレゼンテーション力を向上させ、市場でのビジネスチャンス特定する支援を受けました。

さらに、業界のリーダーとペアを組み、熱心なベンチャー・慈善活動家やインパクト投資家と接触する機会が提供されました。これにより、ハッチ社やコンサベーション・インターナショナル・ベンチャー社から追加の投資を誘致する可能性が生まれました。

詳しくは最新ニュースから

<https://jp.asc-aqua.org/news/latina-female-power-on-international-womens-day-asc-supports-women-in-ocean-food-innovators/>



養殖場基準の最終パブリックコメント

ASC は2016年より魚種ごとの基準を養殖場基準として一本化する活動を幅広いステイクホルダーの方々からのご協力のもと進めてきました。そしていよいよ、4月8日より最終回となるパブリックコメントを実施します。今回のパブコメに関して以下の3つの活動を予定しています。是非皆様のご意見をお聞かせてください。どうぞよろしくお願いいたします。

1) 本部スタッフによるASC養殖場基準の概要や方向性についての説明会。Esther Luiten (プログラム開発ディレクター) とBarbara Janker (ヨーロッパ・APAC のコマーシャル ディレクター) によるウェビナー (英語のみ) 2024年4月4日、17:00～18:00 (日本時間)。

[こちらのリンクより登録してください。](#)

2) 4月8日よりオンラインでの質問や養殖場基準に関するアンケートを日本語でこちらのニュースレターに登録いただいているの方々にご連絡します。

3) 国内でASC認証を取得している生産者様の中で、ご協力いただける方々に個別の話し合いを通して基準の詳細と要件の確認を行います。生産者様に別途直接ご連絡します。



グローバル シュリンプ フォーラム (GSF2024) のご案内

第3回グローバル シュリンプ フォーラム(GSF)は2024年9月3日から5日までオランダのユトレヒトで開催します。エビ養殖業界に特化したこのフォーラムには、エビのサプライチェーンの様々な事業者を代表する500名を超える業界リーダーと専門家が集まります。エビ養殖業界の未来を形作るため、是非このイベントにご参加ください。

イベントの詳細・登録はこちらをご覧ください。
<https://www.shrimp-forum.com/>



ASC認証に関する商品/メニュー/サービス

PR コーナー

毎月のニュースレターに、商品/メニュー/サービスに関するPRコーナーができました。CoC認証を取得している企業や認証水産物に興味のある企業の担当者全員へ送っているため、主要マーケットへダイレクトに宣伝することができます。

毎月、先着順にて掲載させていただきます。この機会に是非ご利用くださいませ!



【お申し込み方法】

ご希望の方は以下のファイルに必要情報を記入し商品や参考画像と共にお送りください。

<https://www.asc-aqua.org/wp-content/uploads/2020/06/ASC-Product-PR-Sheet.xlsx>

担当: 松井(daisuke.matsui@asc-aqua.org)

Fish & Planet株式会社

ASC認証 こんぶサラダ、わかめペースト

ASC認証こんぶサラダは、シャキシャキ歯ごたえの昆布に、寒天・唐辛子・胡麻を加え、胡麻油で仕上げたヘルシーな昆布サラダです。温かいご飯にも、酢飯にも合います。

ASC認証わかめペーストは、ピリ辛風味、あるいは、つくだ煮風のわかめペーストです。あたたかいご飯やおにぎり、野菜料理などによく合います。オーダーメイドのASC認証のこんぶサラダ、わかめペーストをご用意いたしますので、お客様のご要望をお聞かせください。

フィッシュ・アンド・プラネット株式会社

担当: 乗藤 紘史

hiroshi.norito@fishandplanet.com



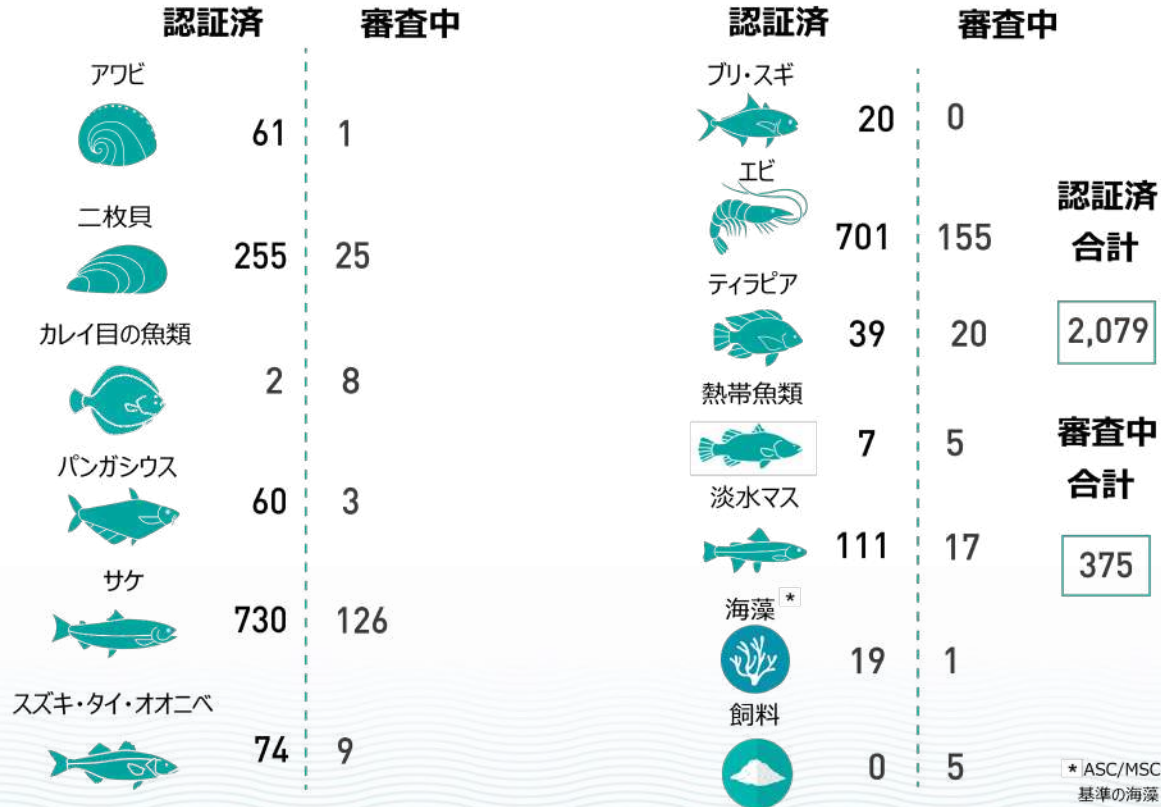
国内ASC養殖場認証取得数

2024年3月1日現在、国内養殖場の認証取得状況をお知らせします。※ 認証単位の定義が変わりました。

48 養殖場（**18**件） 審査中養殖場：1 養殖場（1件） ★[ウェブサイト](#)からもご覧いただけるようになりました★













企業数 (取得順)	養殖 場数	生産企業・漁協	所在地	魚種	認証状態	企業数 (取得順)	養殖 場数	生産企業・漁協	所在地	魚種	認証状態
1	2	宮城県志津川漁協戸倉	宮城県	牡蠣	取得	11	1	マルキン	宮城県	銀鮭	取得
2	3	黒瀬水産（日本水産）	宮崎県	ブリ	取得	12	1	ダイニチ	愛媛県	マダイ	取得
3	1	グローバルオーシャンワークス	鹿児島県	ブリ	取得	13	2	弓ヶ浜水産株式会社	鳥取・新潟	銀鮭	取得
4	3	宮城県漁業協同組合 石巻地区支所・石巻湾支所・石巻市東部支所	宮城県	牡蠣	取得	14	1	熊本県海水養殖漁業協同組合	熊本県	マダイ	取得
5	1	マルハニチロAQUA アクア事業所 上浦漁場	大分県	ブリ	取得	15	19	宮城県漁協北上町十三浜支所青年部グループ	宮城県	ワカメ・コンブ	取得
6	1	ユーグレナ	沖縄県	ユーグレナクロレラ	取得	16	1	東町漁協獅子丸水産	熊本県	マダイ	取得
7	7	鹿児島県東町漁協	鹿児島県	ブリ	取得	17	1	海神貿易	熊本県	ブリ	取得
8	1	マルハニチロAQUA 奄美事業所 久根津漁場	鹿児島県	カンパチ	取得	18	1	福井中央魚市	福井県	ニジマス	取得
9	1	ジャパンサーモンファーム	青森県	ニジマス	取得	(19)	1	泉澤水産	岩手県	サクラマス ギンザケ	審査中
10	1	FRDジャパン	千葉県	ニジマス	取得						

認証済および審査中の養殖場



* ASC/MSC
基準の海藻

魚種別による認証生産量

魚種	生産量 (mT)	魚種	生産量 (mT)
アワビ 	7,231	ブリ・スギ 	16,620
二枚貝 	166,873	エビ 	508,015
パンガシウス 	111,109	ティラピア 	128,861
サケ 	1,070,010	熱帯魚類 	4,241
スズキ・タイ・オオニホ 	61,298	淡水マス 	64,684
海藻 	12,956	カレイ目の魚類 	34
		認証済 合計	2,151,932

ASC認証データ

- ASC養殖場認証取得者数
 世界：2079（前年 2073）
 国内：48*（前年 101）
 ※ 認証単位の定義が変わりました。
- ASC CoC認証取得者数（標準）
 世界：3003（前年 2921）
 国内：194（前年 187）
- ASCロゴ付き消費者向け製品数
 世界：25,666 製品
 国内：605 製品

CoCリスト

ASC商品を取り扱っている国内のCoC企業
 （194社）3月1日現在

日本語のCoCリストを作成しましたので、ご興味のある方はダウンロードしてください。



こちらより
 ダウンロードできます

Thank you



**Setting The
Standard for
Seafood**

Aquaculture Stewardship Council
Daalseplein 101, 3511 SX, Utrecht, Netherlands
Tel: +31 30 230 5929

www.asc-aqua.org
communication@asc-aqua.org
Aquaculture Stewardship Council, 2016

ASC（水産養殖管理協議会）ジャパン
<https://jp.asc-aqua.org/>

このニュースレターに関する問い合わせ先
担当：川田 直美

Email: naomi.kawata@asc-aqua.org
記事を二次利用されたい方は、お問い合わせください

※配信停止をご希望の方は、[送信元](#)へ「配信停止」とご連絡ください。